

# Reactおべんつよ会

Absent friend of play sex

# About me



**Name : Takurinton**

**Age : 20**

**Work : VOYAGE GROUP**

**Internship Student**

**Dev : JavaScript, Python, Go**

# 今日やること

- Pythonの基礎
- JavaScriptの基礎
- Reactについて
- フロントエンドの実装

# Pythonの基礎

そんなんやる意味ないので飛ばします

# JavaScriptの基礎

そんなんやる意味ないので飛ばし**m**

やりましょう！



# JavaScriptの基礎

書き方について

- 型は動的（ガッチリ固めたいならTypeScriptがおすすめ）
- 変数(public)はvar、変数(カッコの中だけ)はlet、定数はconstで表す
- ifもforもJavaと同じ感じ
- listはPythonとかと同じ
- 文字列の結合は+でいける
- クソ言語Javaとは違う！同じように違う！

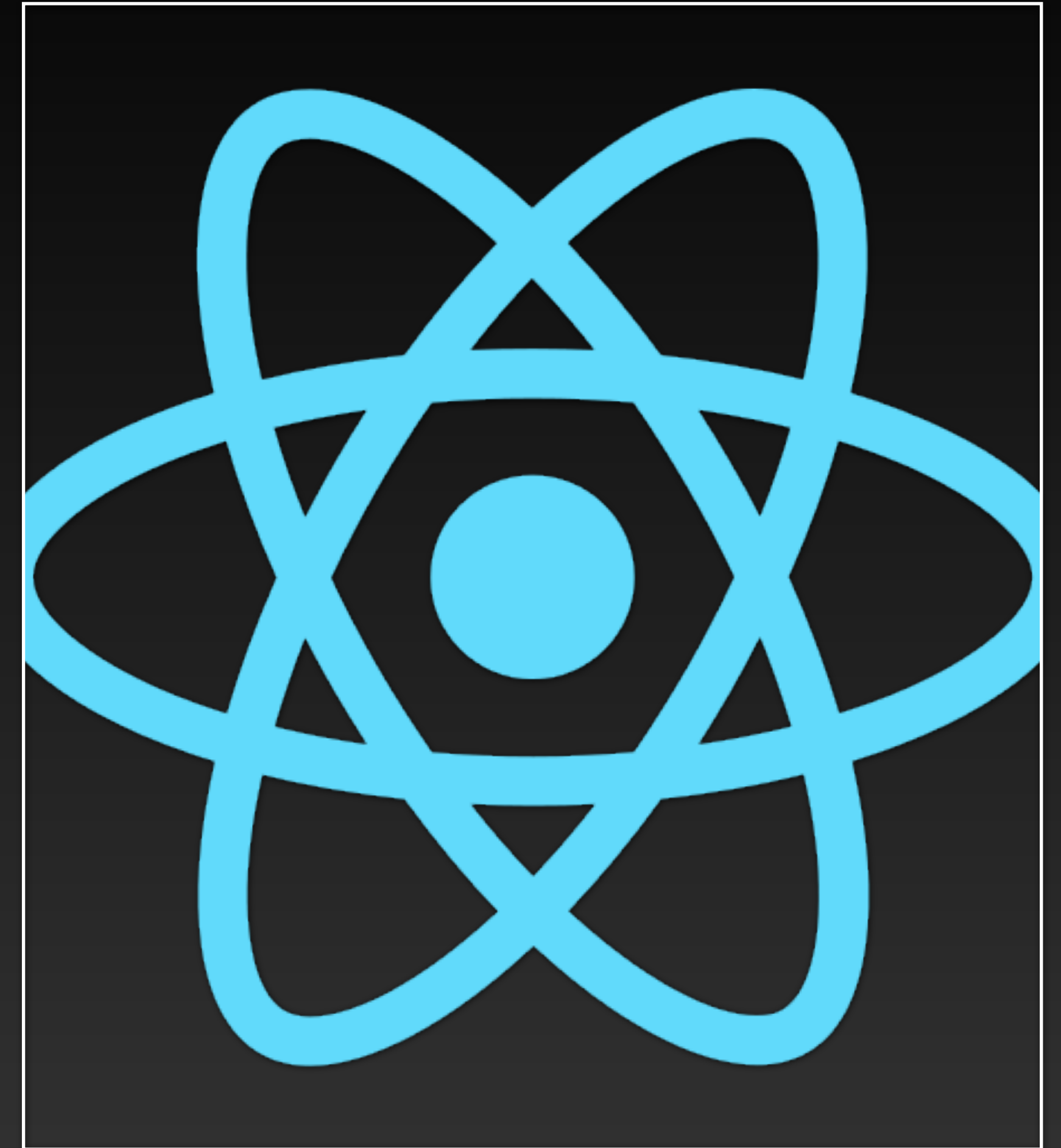
# 非同期処理

- JavaScriptではDOMの更新やHTTP通信などを行うときに非同期で処理を行う
- これは仕様の関係（処理の方法がスタックかキューかの違い）
- 非同期処理には3種類の規格？が準備されてる
- `async/await`
- `Promise`
- `setTimeout`
- これらは組み合わせて使う
- ここではコードは扱わない
- コードみたかったらぜひ [こちら](#) を

# Reactについて

# Reactとは

- JavaScriptで書かれたUIフレームワーク
- Facebookが権力を握っている
- 実はスマホアプリ作れちゃう
- コンポーネントごとに構成され、レンダリングしてフロントに返す
- いわゆるSPA
- 個人的にとっても好み

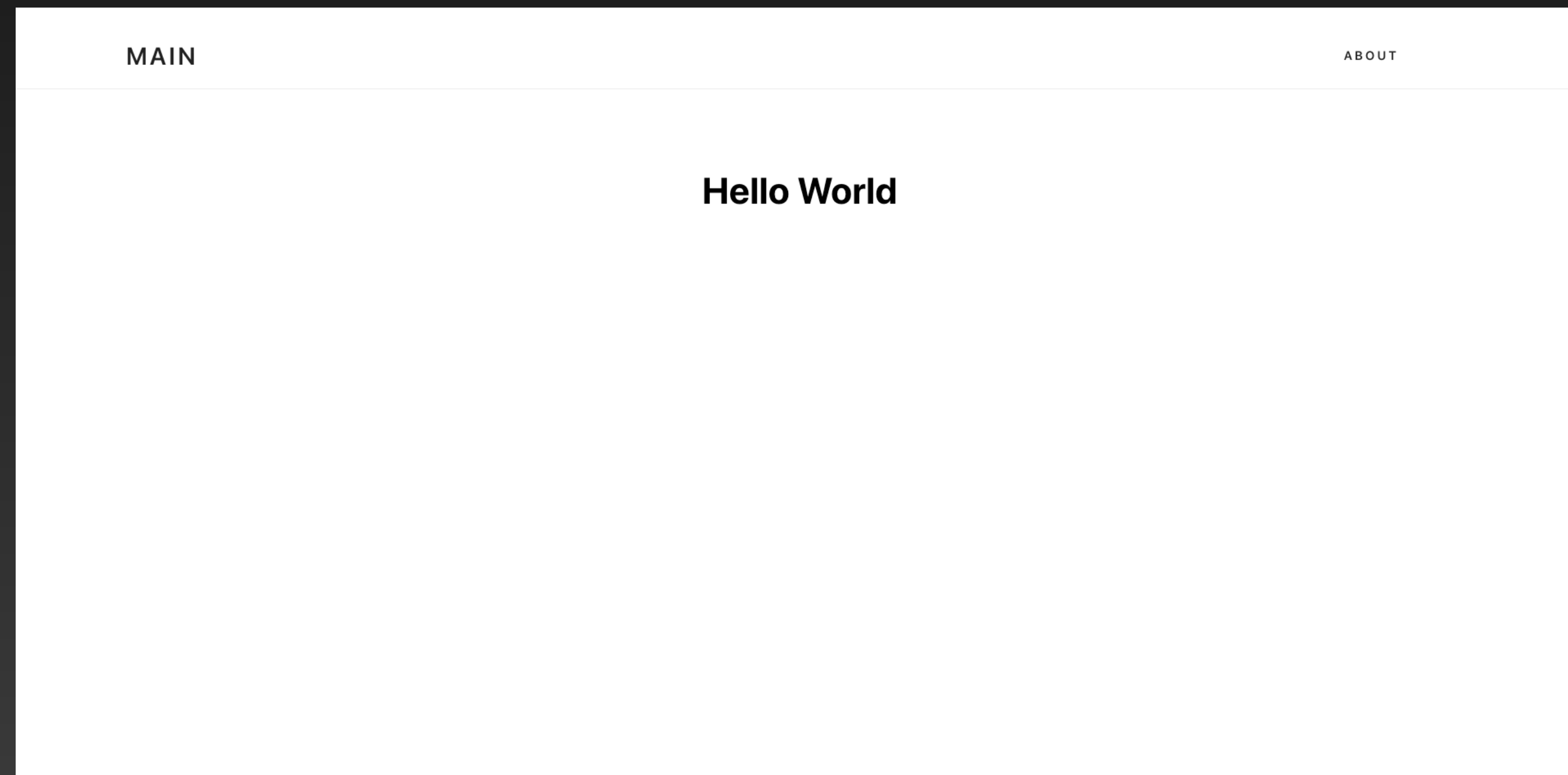


# 今回の構成

- **components** - 部品のコンポーネントが入っているフォルダ
- **pages** - ページのコンポーネントが入っているフォルダ
- **static** - 静的なファイル (image, css, js) が入っているフォルダ
- **App.js** - ルーティングだけを行っているファイル
- 他 - なくても動く

# 動かしてみましょう

- `git clone` してローカル に落としてから `retro` フォルダに移動して  
`npm start` コマンドを実行
- ブラウザに以下のように表示されればオッケー



# 実際に値を変えてみよう

- /rerto/src/pages/Main.jsxの <h1>Hello World</h1>の中身を変えてみる
- 保存したら勝手にブラウザ側で更新されてる

```
JS App.js Main.jsx × Header.jsx About.jsx
retro > src > pages > Main.jsx > Main
1  import React from 'react'
2
3  import '../static/css/css/main.css'
4
5  const Main = () => {
6    return (
7      <div className="main">
8        <h1>I have no friends to have sex</h1>
9      </div>
10   )
11 }
12
13 export default Main
```

自動更新は便利ですね！

MAIN

ABOUT

I have no friends to have sex



フロントエンドの実装

ここから先は  
作ってないので  
適当に好みにやっぺいしましょう